

ベルーフニュース vol.43

発行日：2022年9月21日

♪はじめまして

2022年5月よりIT系インストラクターを担当しています。前職ではソフトウェア開発を経て、企業内技術系研修の開発と新人専門技術教育に携わってきました。現在、ベルーフではIT系研修のうち、コンピュータの基礎を習得する「情報基礎研修」と、データサイエンスの基礎となる「統計学研修」を担当しています。

ベルーフに入ってすぐに職員研修があり、障害者支援に関するさまざまなことを学びました。前職の会社でも障害者雇用を積極的に行なっていましたが、担当業務は清掃や事務的な軽作業が主でした。障害者雇用というそのようなイメージが強かったのですが、先の職員研修で「ソーシャルファーム」という概念を初めて知りました。それは「就労に困難を抱える方が必要なサポートを受け、他の従業員と共に働いている社会的企業」で、欧州で先行しています。日本ではまだそれほど馴染みはないと思いますが、ベルーフの原則としていること知り、自身の障害者雇用に対する認識とかなりのギャップを感じたことを今でも鮮明に覚えています。

♪5ヶ月経験した感想

当初は精神障害をお持ちの方に研修をすることの不安がありました。ベルーフでの初めての研修はオブザーブとして参加しましたが、その時は普通の研修と変わらないので拍子抜けしてしまった記憶があります。その後は自身で研修を行うようになり、他の研修生の方とも接するようになると、さまざまなタイプの方がいることもわかりました。前職では専門技術分野ごとに新人を集めて研修していましたし、新卒新人でしたので、研修生の属性は均一でした。一方ベルーフの研修生の方々は、専門分野はそれぞれ異なり、社会人経験の有無などもさまざまで、前職で経験した研修とは別物という印象を受けました。ただ「別物」と感じるとはいっても、それは障害があるかないかというより、

さまざまなバックグラウンドゆえのものです。逆に、この5ヶ月間の経験で、障害の有無は大きなことではないとも感じました。当然ながら個々人に事情はありますので考慮すべき事項もありますが、専門職での就労も配慮があれば問題なく、ソーシャルファームという考えが納得できました。

♪今後の展望

今後は日本でも専門職での就労の場が増えていくと思います。そのような状況に向けて、ベルーフでの研修は専門技術を身につけることも重要ですが、それ以上に

- 自身の特性を見つけて伸ばす
- 応用が効く本質的な理解、基礎力を身につける
- 能力を向上し続けるモチベーションをもつ

という機会の提供をしていきたいと考えています。昨今、リスキリングやリカレント教育など、長い人生の中で社会変化に適応する学びの考え方が認知されてきています。私事ですが、統計学研修を担当するにあたり学び直しが必要な部分がありました。今回の学び直しでは、新しい発見などもあり、やはり知識を身につけることは楽しいと感じました。また、それ以上に知識を活用して何かを作り出したり、何かを解決したりすることもとても楽しく感じました。今後はこのような楽しさも伝えられるように、また、ベルーフでの経験がその人の核になるような何かを提供できればと考えています。

ベルーフの理念である「地域で安定して長く働き生活を楽しむ」ことが実践できるような機会を提供すべく、今後もいろいろな施策を考えていきたいと思っています。



就労移行支援事業所ベルーフ

東京都指定障害福祉サービス事業所 1310500739

〒112-0002 東京都文京区小石川5-4-1 瑞穂ビル9階

E-mail info@beruf.xyz Web <http://beruf.xyz/>

Facebook <http://www.facebook.com/beruf.xyz/>